

各種相談のご案内

■ 田辺市・橋本市での出張相談について（要予約・無料）

和歌山県 NPO サポートセンターまでお越しいただくのが困難なみなさまのために、以下の2カ所出張相談を行なっております。
事前にご予約下さい。なお、1件あたりの相談時間は1時間までとさせていただきます。

田辺市市民活動センター

■相談日：原則毎月第2金曜日の10時半～17時
■場 所：田辺市民総合センター 2F
■相談予約電話番号：0739-26-9833（FAX 同番号）
■対 象：田辺市を中心に紀南で活動中、または活動しようとする団体

橋本市市民活動サポートセンター

■相談日：原則毎月第2・4水曜日の10時～16時
■場 所：橋本市保健福祉センター 2F
■相談予約電話番号：0736-33-0088 FAX 0736-33-0095
■対 象：原則として橋本市内に拠点を置き活動中、または活動しようとする団体

■「Web 会議」による相談受付が可能です（要予約・無料）

和歌山県 NPO サポートセンターでは「Web 会議」による NPO 相談の受付を実施しています。パソコンの画面を共有しながらご案内することもできます。利用を希望される場合は、電話または電子メールで相談したいテーマ・希望する日程をご連絡ください。
条件が合えば即日ご相談を承ることも可能です。

サポートセンターからのお知らせ

■サポートセンター各種講座の開催予定

【NPO 基礎講座 in 粉河】

NPO とは？ NPO 法人とは？ NPO の基礎を学びます。
日 時／2月8日（土）14:00～16:00
場 所／古民家山崎邸（JR 粉河駅前）
参加費／300 円

【NPO 基礎講座】

ご自身の「定款」の構成を把握し、組織運営に活かしましょう！
日 時／2月22日（土）14:00～15:30
場 所／和歌山ビッグ愛 9 階会議室 B
参加費／300 円

【NPO・ボランティア団体のための被災地支援講座】

気象災害から身を守るための様々な情報について学ぶとともに、大規模災害が発生した際に NPO・ボランティア団体ができることはなにかを考えます。
日 時／3月2日（月）18:00～19:30
場 所／和歌山市地域フロンティアセンター（フォルテワジマ 6 階）
参加費／無料

共 催／和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会
本講座は「和歌山地方気象台出張講座」を利用します。

【NPO・ボランティアのための広報講座（初級編）】

和歌山市 NPO・ボランティアパワーアップセミナー

とタイアップし、NPO・ボランティア団体にとって必要な「広報」の基礎を学びます。

日 時／3月7日（土）14:00～16:00
場 所／和歌山市地域フロンティアセンター（フォルテワジマ 6 階）
講 師／石井大輔さん（「ファンドレイジングのレシピ」代表／ファンドレイジング・コーディネーター）
参加費／300 円（資料代）、各団体の広報チラシ等をご持参ください。
共 催／和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会

いずれの講座も事前申込みが必要です。電話・FAX・電子メールのいずれかで、和歌山県 NPO サポートセンターまでお知らせください。
いただいた個人情報は本事業の運営のみに用います。

■NPO 法の一部改正について

昨年 12 月 14 日に特定非営利活動促進法（NPO 法）が一部改正され、役員の欠格事由が一部変更となりました。今後 NPO 法人の役員の選任・改選をされる場合、新しい欠格事由に基づき選任いただく必要がありますのでご注意ください。

詳しくは、和歌山県庁より各 NPO 法人に送付されたご案内、もしくは「わかやま NPO 広場」ウェブサイトでご確認ください。

NPO に関するご相談は

和歌山県 NPO サポートセンター（県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9F）
TEL：073-435-5424 FAX：073-435-5425
メール：info@wakayama-npo.jp URL：https://www.wakayama-npo.jp/
受付時間：火曜日～土曜日 9:00～20:50（21:00 閉館）
日曜日 9:00～17:30
休館日：月曜日・祝祭日・年末年始（12/29～1/3）
【指定管理者：認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター】

和歌山県環境生活部 県民局 県民生活課 県民活動団体室（和歌山県庁本館 2F）
TEL：073-441-2053 FAX：073-433-1771
メール：e0313002@pref.wakayama.lg.jp
URL：https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/

【本紙は古紙再生率 70%以上の再生紙を使用しております】

認知症の人とともに誰もが安心して暮らせる社会を目指す！

和歌山県認知症支援協会は、和歌山県の事業で、認知症に関するさまざまな相談ができる「わかやま認知症なんでも電話相談」を運営しています。ほかにもカウンセリングや学習会、当事者や家族などグループでの交流の場づくり、仲間と一緒に作業する場、自由に過ごせる居場所づくりなど多彩な事業を展開しています。

本人の意思を尊重し負のスパイラルから脱出を

「最初は、認知症に関して全くの素人でした。」と代表理事の林千恵子さんは話します。アルツハイマー型認知症を患った義母と突然一緒に生活することになったことが支援に携わるきっかけだそうです。

「認知症の方と暮らすのはたいへんだと聞いていましたが、一緒に暮らすと違いました。認知症家族の会などに参加し、力づけられたのも大きいですが、本人の思いに合わせて付き合えば、わりと上手くいきました。掃除もしてくれるし、一緒に買い物もできる。そうすると症状も少しよくなったように感じました。」と語ります。

林さんはその経験を活かし、認知症ケア学会の専門士やカウンセラー資格を取得し、活動されています。



◀ 冊子の挿絵の製作用業
▼ 実際に使用された挿絵



一般社団法人 和歌山県認知症支援協会

〒641-0021 和歌山市和歌浦東 4 丁目 3-51 TEL 073-460-1456 / FAX 073-460-6581 https://www.alz-wakayama.com/

INDEX

表紙：和になろう／一般社団法人 和歌山県認知症支援協会

p.1：特集 災害と NPO・ボランティア

p.2：新規設立 NPO 法人、助成金・イベント等のご案内

p.3：サポートセンターからのお知らせ



▶ 林代表理事
(中) と 会 員
のみなさん

認知症患者さんとの出会いでたくさんの学びが

「認知症患者さんだからというのではなく、皆さん一人ひとり違う個性をお持ちです。支援もこうあるべきというものはないです。認知症患者さんと付き合うなかで、新しい発見や個性が垣間見れたときに嬉しくなります。」と林さんは言います。

また、事務局の会議室を会員向けに「ももカフェ」として開放し、協会の運営のお手伝いをしてもらったりしています。認知症患者さんに冊子の挿絵を描いてもらうなど、境界線をつくらず、みんな一緒に活動されています。

「人間関係の学びはたくさんあって、私自身これからどう生きていきたいのかも考える機会をいただきました。」と語ります。

和歌山市委託事業『あんしんメイト』

認知症患者さんご家族への支援として、患者さんの外出に同行したり、自宅で安心して過ごせるよう見守り支援などを行っています。

「認知症患者さんとじっくり向き合う事で、受け入れてもらって、笑顔を取り戻すことができるととても嬉しい」と言います。しかし、『あんしんメイト』はご家族への支援なので、当事者が支援を望んでも対応できないのが残念で、当事者の意思や希望も尊重できるよう、行政に制度拡大も求めています。」と林さんは話しています。

現在、認知症をはじめ、介護が必要な方を地域で支え合う仕組みづくりが求められています。このような活動が県内各地に広がり、誰もが安心して暮らせる社会となることを願うばかりです。

特集 災害と NPO・ボランティア

昨年は下半期に前線や台風に伴う豪雨災害が全国各地で発生しました。大規模災害が発生した時には「災害ボランティア」が活躍するのが一般的になりました。災害ボランティアはどのような仕組みで活動しているのでしょうか。

きっかけは阪神・淡路大震災

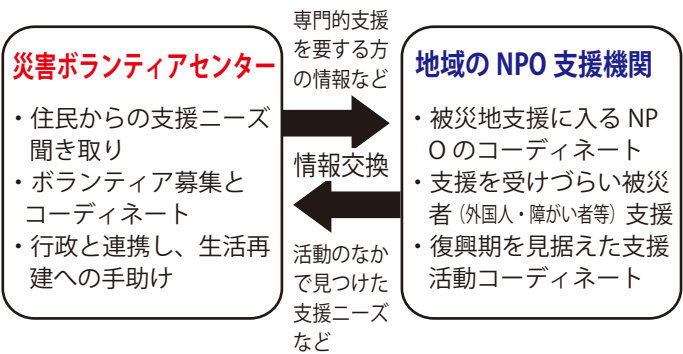
大規模災害でボランティアが活躍する大きな契機となったのは 1995 年の阪神・淡路大震災。非常に多くのボランティアが被災地に入り、活動をおこなったことから、1995 年を「ボランティア元年」と呼ぶこともあります。また NPO 法人制度設立のきっかけの一つにもなりました。その後、日本海での重油流出事故など、自然災害以外にもボランティアが活躍するようになりました。

災害ボランティアの活動支援体制の構築

大きな災害が発生すると、被災地では家屋の片付けや泥の撤去などのニーズが爆発的に増えます。行政だけではとてもそのようなニーズに対応しきれません。ほとんどの自治体では災害が発生した際、地元の社会福祉協議会（社協）と連携し「災害ボランティアセンター（VC）」を設置し、「被災者中心」「地元主体」「協働」を運営の 3 原則とした「被災者のニーズ」対応に当たる仕組みが構築されています。災害 VC は被災者からの支援ニーズを聞き取り、必要に応じてボランティア活動をコーディネートします。

社協はすべての市町村に設置されているほか、福祉の立場から日常的に地域住民と密接に関わっています。災害をきっかけに何らかの福祉サービスが必要になる方も少なくないことなどから、社協が災害 VC を開設し、災害復旧や生活支援に携わることが定着しています。

しかし、社協が運営する災害 VC は公的な立場であること、またボランティア保険に加入することを前提としていることなどから、例えば自営業者の経営再建に向けた支援や、重機を使った活動など保険の対象外となるような活動は担うのが難しいという課題を抱えています。



※ 被災の規模によっては災害ボランティアセンターが設置されないこともあります。

※ 上記の活動はあくまで一例です。被災の内容・時期・地域・範囲等によって、活動は大きく異なることがあります。



2 系統の支援へ

この枠組みが大きく動いたのが 2014 年 8 月に広島市で起こった土砂災害といわれています。2011 年の東日本大震災以降、被災地支援に取り組む団体が全国的に増加。そんな団体も多く広島の被災地に入りました。そこで、現地の NPO 支援センターが、支援に入った NPO・NGO とのネットワークを構築。災害 VC と NPO 支援センターが情報共有することで、災害 VC では対応が困難なニーズを NPO・NGO が対応したり、NPO・NGO が発見した情報を災害 VC に伝えて対応してもらったり、といった「2 系統」支援の枠組みが徐々にできあがってきました。

その後、2015 年関東・東北豪雨、2016 年熊本地震などでも同様の試みが一定の成果を上げ、現在では、社協が設置する災害 VC と被災地支援 NPO が連携しながら緊急時のニーズに対応する枠組みが全国標準になり始めています。

和歌山県の被災地支援 NPO 登録制度

和歌山県では県社協に災害ボランティアセンターが常設されているほか、「被災地生活支援 NPO」登録制度を設けています。和歌山県内で大規模な災害が発生し、市町村等から被災地ニーズが寄せられた際に、NPO やボランティア団体を紹介する制度です。みなさんの団体もぜひ、登録しませんか。お問い合わせは和歌山県 NPO サポートセンターまで。

【被災地生活支援 NPO 登録制度】

https://www.wakayama-npo.jp/hisaichi/his_index.html
（わかやま NPO 広場「被災地生活支援 NPO 制度について」からアクセスできます）

新規設立 NPO 法人

前号以降に新たに認証された NPO 法人をご紹介します

◎NPO 法人さんくすすまいる TEAM わかやま（和歌山市）
2019 年 9 月 20 日設立 代表者 西平 都紀子

◎NPO 法人北吉田蓮の郷（御坊市）
2019 年 9 月 26 日設立 代表者 佐竹 成公

助成金 & 公募情報

紀の国森づくり基金活用事業

森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する活動に対して支援します。

【助成対象】 和歌山県内に事業所をおく団体・法人

【助成金額】 1 件あたり 20 万円～ 200 万円。

【助成期間】 交付決定から 2021 年 3 月末までに事業報告等のすべてが完了すること。

【締 切】 1 月 20 日（月）

【主 催】 和歌山県森林整備課 緑化推進班（073-441-2983）

【備 考】 募集要項等は、紀の国森づくり基金のウェブサイトに掲載されています。

休眠預金活用による「脱・孤立のための助成金」

休眠預金を活用した「草の根支援」の近畿ブロックの支援事業です。

【助成対象】 近畿地方にある団体（法人格の有無や書類は不問）

【助成金額】 1 件あたり 500 万円～ 2,000 万円。ただし事業総額の 80%が上限

【助成期間】 2020 年 3 月～ 2022 年 2 月の 2 年間に実施される事業。

【締 切】 1 月 31 日（金）17 時必着

【主 催】 公益財団法人信頼資本財団（<https://shinrai.or.jp/>）

第 19 回わかやま環境賞

和歌山県内の優れた環境保全活動を顕彰します。

【対 象】 県内において優れた環境保全活動を行う個人または団体。自薦・他薦は問いませんが、他薦の場合は事前に同意をとってください。

【対象事業】 地球温暖化防止活動、まちの美化・緑化活動、リサイクル活動など 15 分野のうちいずれかに該当するもの

【締 切】 2 月 28 日（金）必着

【主催・問合せ】 和歌山県庁環境生活総務課（073-441-2670）

【備 考】 第 19 回わかやま環境賞のページに応募用紙とリーフレットが掲載されています。和歌山県庁環境生活総務課ウェブサイトからご覧ください。

イベント情報

うちの子いちばん写真展

市民のみなさんから寄せられたペットの写真を展示するとともに、ペットを飼う時に気をつける点、捨て犬・捨て猫の防止に関する啓発も実施。

【日 時】 2 月 16 日（日）10:00 ～ 15:00

【場 所】 紀南文化会館展示ホール

【参加費】 無料

【主 催】 NPO 法人ワンニャン会（<https://wannyanikai.com/>）

にじわかキャラバン 2019

和歌山県男女共同参画センター「みんなに男女共同参画」提案事業。

【日時・場所】 ① 2 月 16 日（日）13:30 ～ 17:00、紀の川市立打田地区公民館 視聴覚室 2、② 2 月 23 日（日）13:30 ～ 17:00、御坊市立湯川コミュニティセンター 1 階会議室

【内 容】 セクシュアルマイノリティについての基礎的なお話と交流会

【参加費】 無料

【主 催】 NPO 法人チーム紀伊水道（kii.suidoh@gmail.com）

第 6 回粉河とんまか雛通り

今年も粉河寺の門前町が雛人形で彩られます。

【日 程】 2 月 22 日（土）～ 3 月 22 日（日）

【場 所】 粉河とんまか通り（JR 粉河駅～粉河寺間）

【内 容】 雛人形・絵手紙作品展示、粉河祭だんじり幕展示、流し雛など。日程は Facebook ページ等でご確認ください。

【参加費】 無料

【主 催】 粉河とんまか雛通り実行委員会（0736-73-8500・観光特産センターこかわ）

【主 催】 詳細は Facebook ページをご覧ください（<https://www.facebook.com/kokawatonmaka/>）

全国ボランティアコーディネーター研究集会

全国各地でボランティアのコーディネーション業務をおこなっているみなさんが集います。

【日 程】 2 月 22 日（土）～ 23 日（日）

【場 所】 国立オリンピック記念青少年総合センター

【内 容】 ボランティアに関する講座やワークショップなどの分科会、全体会等

【参加費】 一般 13,000 円、JVCA 会員 11,000 円（早割の場合は各 1,000 円引き）

【締切り】 早割 1 月 24 日（金）一般締切り 1 月 31 日（金）

【定 員】 250 名

【主 催】 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2020 東京実行委員会（<https://jvcc2020tokyo.jimdofree.com>）

助成金やイベント情報はわかやま NPO 広場内「[情報ブログ](#)」に随時掲載しています（<http://blog.canpan.info/wnc/>）。

また毎月 1 日・15 日配信のメールマガジンでは、ブログに掲載された各種情報のヘッドラインをコンパクトにお届けします。配信をご希望の方は配信先アドレスをお知らせください（info@wakayama-npo.jp）。

スマートフォン・携帯電話等で受信される場合は、「npot_su_remote_mail@googlegroups.com」が受信できるようメールの設定をお願いいたします。